

岩手県立大学 社会福祉学研究科 博士後期課程 アセスメント・ポリシー

【ディプロマ・ポリシー】

No	内 容（学生が身につけるべき能力）
DP1	多面的な社会福祉分野において、高度なコンサルテーション、リエゾン・コンサルテーションができる。
DP2	地域や行政に対して、福祉・心理・保健・医療分野でのシンクタンク機能を担うことができる。
DP3	岩手県立大学が位置する地域特性を活かし、わが国の同様の特性を持つ地域と連携し、さらには国際的視野に立ち、研究成果を築くことができる。
DP4	社会福祉に関わる実践領域、研究機関、教育機関において求められる研究能力と実践能力とを兼ね備えている。

【アセスメントの実施計画】

	項目	方法	時期	対応 DP	結果の活用（公開方法）	実施者
1 年次	社会福祉特定研究 I	ルーブリック (経過報告会の発表内容)	後期	DP3, DP4	院生の学修達成度の把握、学修目標の修正および研究科教育の改善	社会福祉特定研究 I 担当教員
2 年次	社会福祉特定研究 II	ルーブリック (中間報告会の発表内容)	後期	DP3, DP4	院生の学修達成度の把握、学修目標の修正および研究科教育の改善	社会福祉特定研究 II 担当教員
3 年次	社会福祉総合研究 I・II・III	ルーブリック (学位論文等の内容)	後期	DP1, DP2, DP3	院生の学修達成度の把握および研究科教育の改善	社会福祉総合研究 I・II・III 担当教員